

# 入札監理小委員会の審議結果報告

## JF-NET 運用管理支援等業務

(独) 国際交流基金の JF-NET 運用管理支援等業務について、当該民間競争入札実施要項(案)を入札監理小委員会において審議したので、その結果(主な論点と対応)を以下のとおり報告する。

### 1. 事業概要について

#### (1) 事業の概要

##### ○事業概要および目的

国際交流基金の執務用ネットワークである JF-NET について、サービスデスクやシステムなどの運用管理支援業務を行い、安全かつ安定的に利用することが可能となるよう、サービスの提供を求めるものである。

##### ○実施期間

平成 30 年 10 月 1 日から平成 34 年 9 月 30 日までの 4 年間であり、市場化テスト 2 期目である。

#### (2) 選定の経緯

各省庁・独立行政法人に対し、行政情報ネットワークシステム関連業務について、市場化テストの一斉導入が求められ、公共サービス改革基本方針(平成 24 年 7 月 20 日閣議決定)別表において選定されたものである。

### 2. 事業の評価を踏まえた対応について

#### 【論点】

1 期目は、準備作業が事業開始までに完了せず、また、仕様書に定められた業務の一部が適切に実施されないなど、サービスの質の確保の面で問題があり、そのため契約金額の一部減額も行われた。2 期目では、サービスの質の確保を最重点に考えていく。

#### 【対応】

下記の対応を行うこととした。

##### ①落札方式の見直し

- ・落札方式を最低価格方式から総合評価落札方式へ変更(実施要項案 10/68 頁)
- ・説明会にて、質の確保に重点を置いている旨の説明を行う

②引継資料を現行業者から適切に提出させること、引き継ぎについて適切に基金職員もフォローすること等により、準備作業が業務開始前に適切に完了するように対応する

### 3. 実施要項（案）の審議結果について

#### 【論点】

事業者を決定するための評価方法について、技術点：価格点を「3：1」とするほど特別な事業とは思えないので、比率の見直しが必要ではないか。

#### 【対応】

ご指摘を踏まえ比率変更の検討を行い、「3：1」から「2.5：1」に変更を行った。（実施要項案 10／68頁）

#### 【論点】

基金として創意工夫を求める部分を高配点にする等、総合評価方式の主旨を踏まえ、業務提案書評価基準を見直すこと

#### 【対応】

市場化テスト1期目を受け、次の3点に対して事業者に創意工夫を求めるため、関連評価項目を高配点にする等、評価基準を見直した

- ・次期事業者への引継ぎを円滑に行うこと（実施要項案 57／68頁 評価基準表 項番4）
- ・業務開始後の事業を安定して行うこと（同表 項番1および機能証明書（61～67／68頁）、項番2）
- ・実施体制に問題が生じた場合の適切なリカバリ体制を構築すること（同表 項番2）

#### 【論点】

本業務の規模では常駐要員を2名求めるのは難しいと思われるので、対応を検討すること

#### 【対応】

常駐要員を「1名以上」とし、評価基準表にて、実施体制の加算点を高配点とした（実施要項案 32／68頁、57／68頁 評価基準表 項番2）

### 4. パブリック・コメントの対応について

平成30年2月14日から27日まで実施されたパブリック・コメントについて、意見は寄せられなかった。

以 上